

きんだんこうい

禁断行爲

~義母に●出し

岬ゆきひろ





あの夏を
俺は忘れない
俺の前に現れた



帰って
きやがった...



一人の女性が俺を...
いや
俺の家族を変えた
あの夏を



関係ねえ
だろ

こんな時間に
また遊びに
行くのか…



和樹



……
和樹
……明日
お前に……



全然学校に
行っていない
みたいじゃ
ないか…

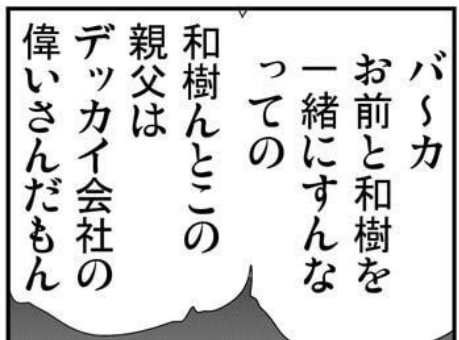
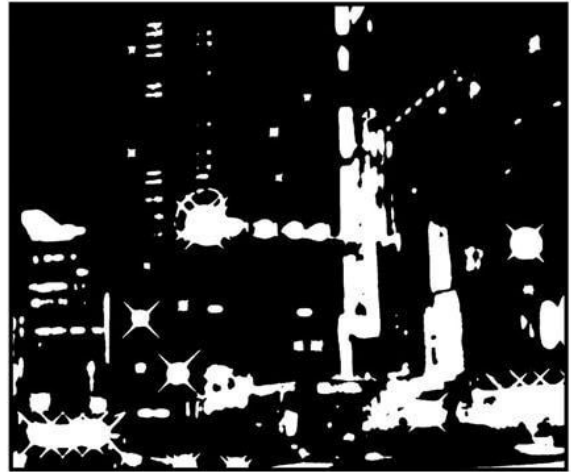
今朝会社に
学校から
連絡があったぞ



会社での
アンタの立場が
悪くなっちゃう
もんな

そりゃ
すまなかったな











ああ……
イク……



だって
和樹カッコ
いいから
お父さんも
ナイスガイ
かなあって



ああ
今度買って
やるよ
やった

和樹……私ね
欲しい時計が
あるんだけど……



ねえねえ
和樹の
お父さんって
どんな人？

あ？
なんで？



あ……
ごめん

覚えてねえ
俺が小学校に
入る前に家を
出て行ったんだ



……

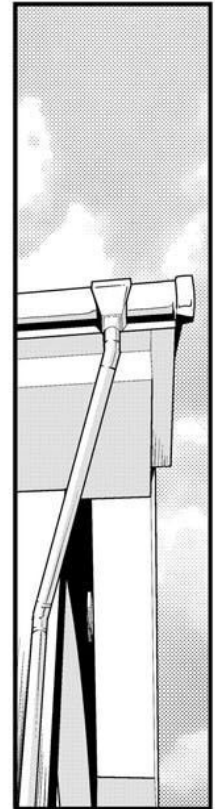


仕事するしか
能がねえ
しょぼくれた
親父だよ

ふらん
じゃあ
お母さんは？







先月まで
ウチの会社で
受付をして
くれていた
遠山由里さんだ

はじめまして

彼女と再婚
しようとして
考えているんだ

!?

再婚……

お前に
会わせなきゃと
思っていたが
なかなか
タイミングが
無くて……

……ども

……勝手にしろよ

おい
待ちなさい

俺に気を
遣うなよ

どうせ
俺もアンタに
食わせてもらってる
身なんだから





ホントー!!
嬉しい!

お前も
好きなもんありや
何でも言えよ



和樹から
誘ってくれるなんて
嬉しいな
何の買い物?

パーツと金を
使いたかった
だけだよ

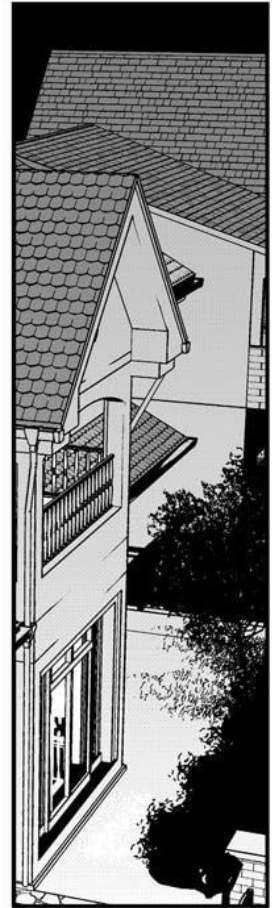


和樹…
なんだか
激しい…
イキそう…



あん

ああ…
ダメ…



せっかく
由里が用意して
くれたんだから…

うるせえ！

この女のこと
何も知らねえ
くせによ！

おい
ちよっと待て！



!?

どういうことだ？
この女なんて
言い方は…



おい
和樹…

和樹君
もう寝る
時間よ

やだ
ママのお膝で
寝る

ちっ





この家から
出すって
言うんですか？

変な気を……
遣わないで
ください

アレにとっても
その方が
良いかもしれ
ない

……家族
なんだから
……平気
です

俺が家
を出る……
!?

和樹のこと
なんだが……

お前が
やりづらいの
なら……
アレに一人
暮らしを
させても
いいと
思っている

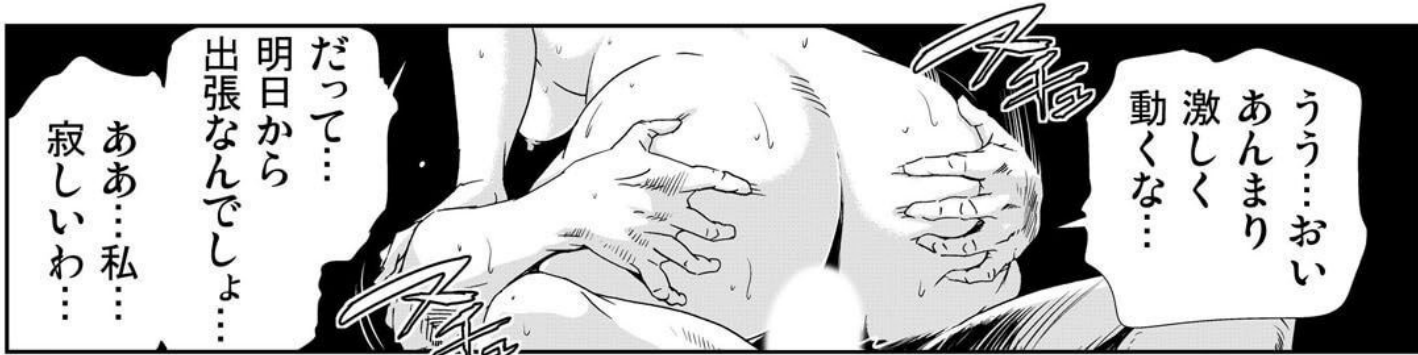
なん
ですか？





ああ……

あは……



うう…おい
あんまり
激しく
動くな…

だって…
明日から
出張なんでしょ…

ああ…私…
寂しいわ…



アアアツ



んっ



由里っ！
あっ
いいっ



ああ!
イク〜!

出すぞ
由里っ

アッ
アッ

うっ
グハッ

来て

この女が
いるから



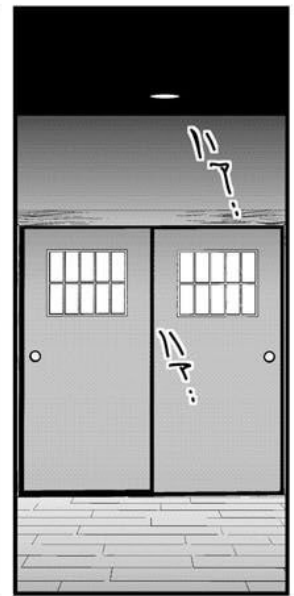
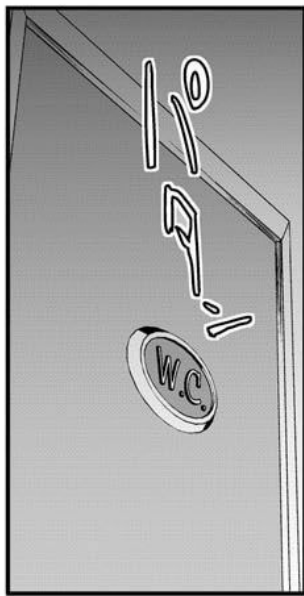
俺が家を出される

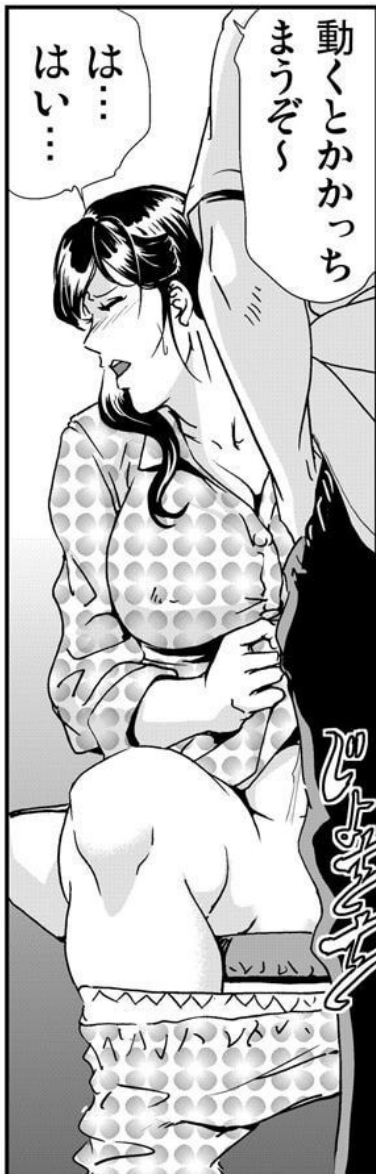
この女がいるから

アアン



フ







俺を
この家から
追い出す
気か？

え？



もっと脚
開かなきゃ
かかっちゃうぜ

そ…
そんな



えっ！



ああ
見たよ

いつもあんな
雌豚みたいなの
ことしてんだな



もしかして…和樹くん
私とお父さんとの
…セックスを



この体で
親父を
落とし
たのか？

アッ



やめて…

お願い
和樹君…



今日
見たんだぜ

洒落たカフェで
若い男と
仲よさそうに
いたよな



親父の金が
目的なんだろう？

ば…馬鹿な事
言わないで



おい
由里…

どこだ？
トイレか？

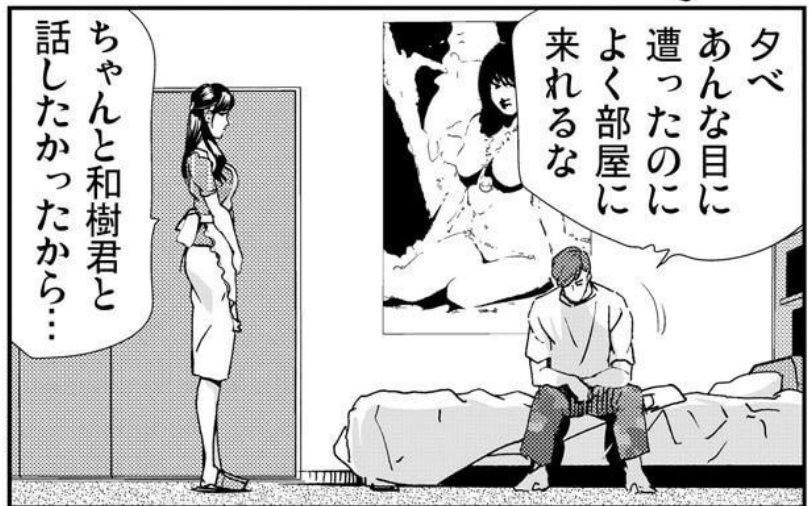
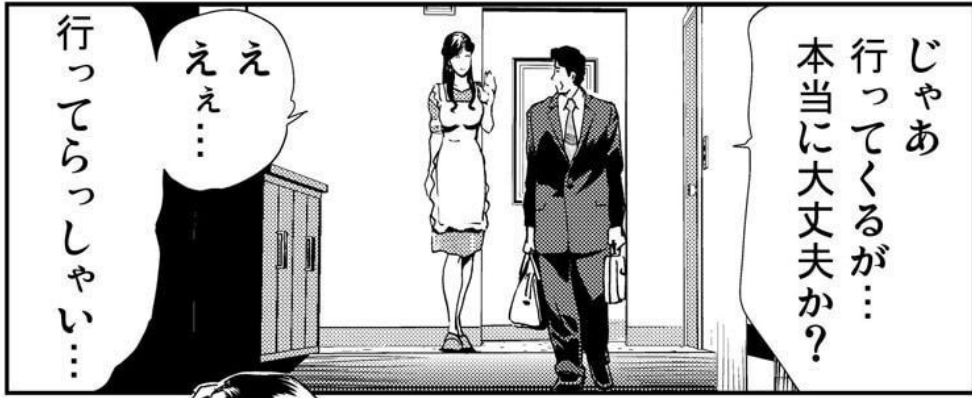


あの男の人は
和樹君の考えて
いるような人じゃ…



親父に話したら
アンタこそ
家にいれなく
なるだろうな…











この体で男を
たぶらかすメスが
偉そうなことを
言うな

ああ



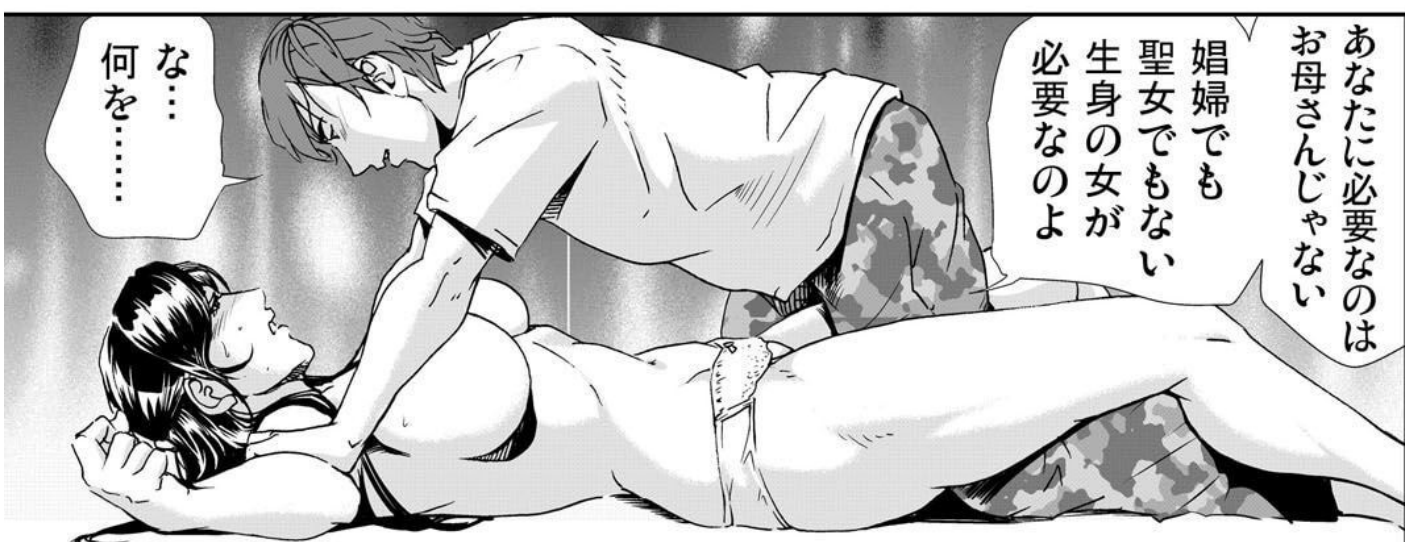
母さんは
お前とは違う…

違う…



あなたの
お母さんも
女なのよ

私と同じように
お父さんと
愛し合った女よ



あなたに必要なのは
お母さんじゃない
娼婦でも
聖女でもない
生身の女が
必要なのよ

な…
何を…

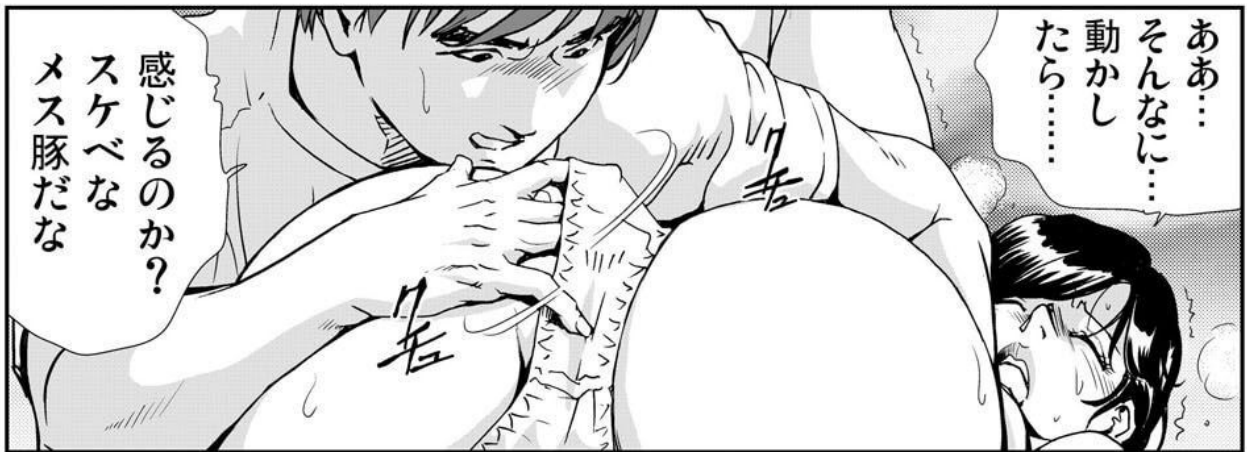


こんなに濡らしやがって何を偉そうなことを...

あ...



お金なんかじゃない... 愛しい気持ちにさせてくれる女を知る年頃よ



ああ... そんなに... 動かし... たら...

感じるのか? スケベなメス豚だな



ふざけるな... 俺のことなんて...



あなたのことが... 好きだから...



あなたの事が好きだから感じるの…

だってお前は親父の…

あなたは
お父さんとは
違う魅力がある
初めて会った時に
感じたの…



私を悦ばせて…

お父さんと
違うやり方で…



あ…
当たり前だ…
俺は…
親父とは
違う…



あなたが
お父さんを憎むなら
お父さんから
私を奪って
ちようだい

くっ!



ああ!!



いいわ…
激しい!



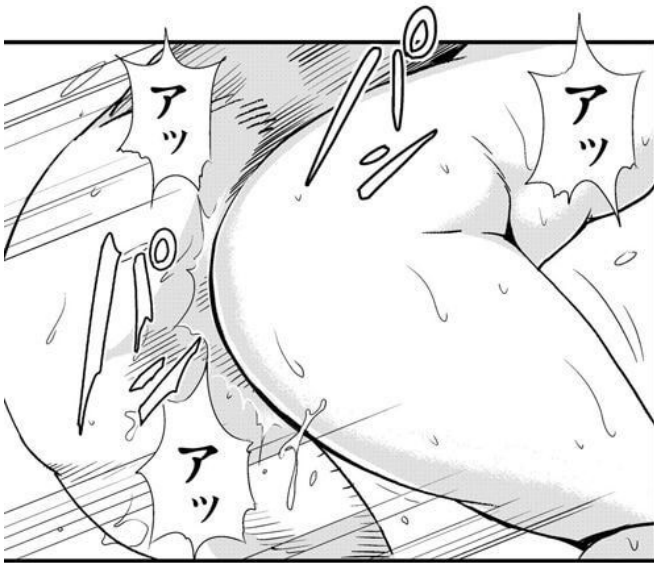
親父は…
俺から
母さんを
奪った…

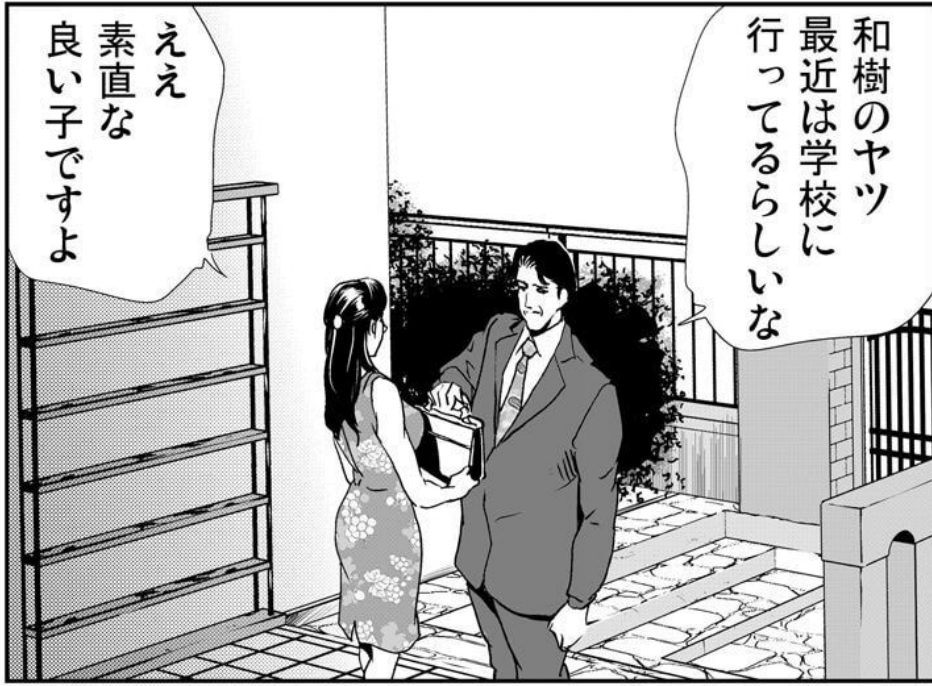
だから…
俺は…
親父から…



親父から
奪ってやる

アアッ





ええ
素直な
良い子ですよ

和樹のヤツ
最近は学校に
行ってるらしいな



学校
遅刻するんじや
ない?



じゃあ
行ってくる



.....



着ろよ



行っ
てらっ
しゃい





あの夏を俺は忘れない
俺の前に現れた一人の女性が俺を……
いや俺の家族を変えたあの夏を——



由里……





